

1. 基本設計の位置づけ

基本構想

新潟市巻斎場は、昭和 43 年の開設から 55 年が経過し、これまで火葬炉や施設の増設工事は実施しましたが、大規模改修は行っておらず、火葬炉、建物ともに老朽化が進んでいます。また、高齢化の進行により、増加が見込まれる火葬需要への対応が困難になることが想定されるため、現敷地内での建替えにより、必要な火葬体制の確保及び市民サービスの維持を図ります。

基本計画

基本設計

実施設計

建設工事

完 成

令和 5 年 7 月に「新潟市巻斎場整備基本計画」を策定し、基本計画の方針を踏まえて、令和 6 年 3 月に「新潟市巻斎場整備基本設計」を作成しました。

基本設計は、今後の斎場の整備にあたり、基本的な施設の構造、レイアウト、空間計画などを設計し、実施設計を行うための基礎資料とするものです。



2. 設計方針

【新潟市巻斎場整備基本計画の施設整備の基本方針】

① 将来の火葬需要への対応

高齢化の進行に伴う将来の火葬需要の増加に対応できる施設にするため、新斎場の火葬炉は 3 基整備します。

② プライバシーを確保し個別化を図る平面構成

同時受入れにも対応しつつ、告別や収骨の際は故人の尊厳やプライバシーへの配慮が必要となるため、葬送儀式空間の個別化を図ります。

③ 適切な空間整備

将来の火葬数の増加や会葬者数の実情に応じた適切な空間の整備を図ります。また、火葬作業に必要な台車置き場等のスペースを余裕をもって設置し、会葬者と斎場職員の動線が適切に分けられるよう配慮します。

④ バリアフリー化・ユニバーサルデザインへの対応

初めて訪れた人でも分かりやすい平面構成とするとともに、台車や車椅子のスムーズな移動を確保し、また、宗教や思想の違いに関わらず利用しやすい、ユニバーサルデザインに対応した施設を整備します。

⑤ 公害発生防止への対応

ダイオキシン類、ばい煙、悪臭、騒音、振動等の公害発生を防止し、周辺環境に配慮した設備を設置します。

3. 基本設計の計画コンセプト

基本計画の施設整備方針の具現化にあたり、基本設計の計画コンセプトを以下のように考えます。

故人を偲び心ゆくまでお見送りできる場

安心して利用できる施設

環境や景観と調和した施設

将来変化に対応できる施設

4. 計画コンセプトを実現するための要点

(1) 故人を偲び心ゆくまでお見送りできる場

- ひとつひとつの葬送行為をつつがなく進めることができるように、葬送の円滑な進行に配慮した動線・平面計画をおこないます。
- 故人の尊厳やプライバシーに配慮し、他の会葬者と干渉しない個別化した葬儀空間を計画します。
- この地で暮らした故人を送りだす場所に相応しい「ふるさとを思いおこしながら故人への想いを馳せる場」となるように、地域の風景を取り込み、木材を活用した空間を計画します。

(2) 安心して利用できる施設

- 耐震安全性を十分確保し、また、災害時のライフライン途絶時に施設機能を維持できる計画をおこないます。
- 暴風・大雨対策として、基準を割増した風速・雨量への対応とハザードマップによる建物への浸水高さを考慮した外構レベルの計画をおこないます。
- 会葬者が葬送に集中できるように「静音性の高い空間」「清潔かつ美しい衛生空間」「直射光をコントロールした明るい空間」を計画します。
- 年齢や性別、国籍、障害の有無に関わらず、誰もが使いやすいようにバリアフリー化・ユニバーサルデザインに対応した施設計画をおこないます。また、異なる宗教・思想の違いに関わらず利用しやすいシンプルで普遍的な空間を計画します。

(3) 環境や景観と調和した施設

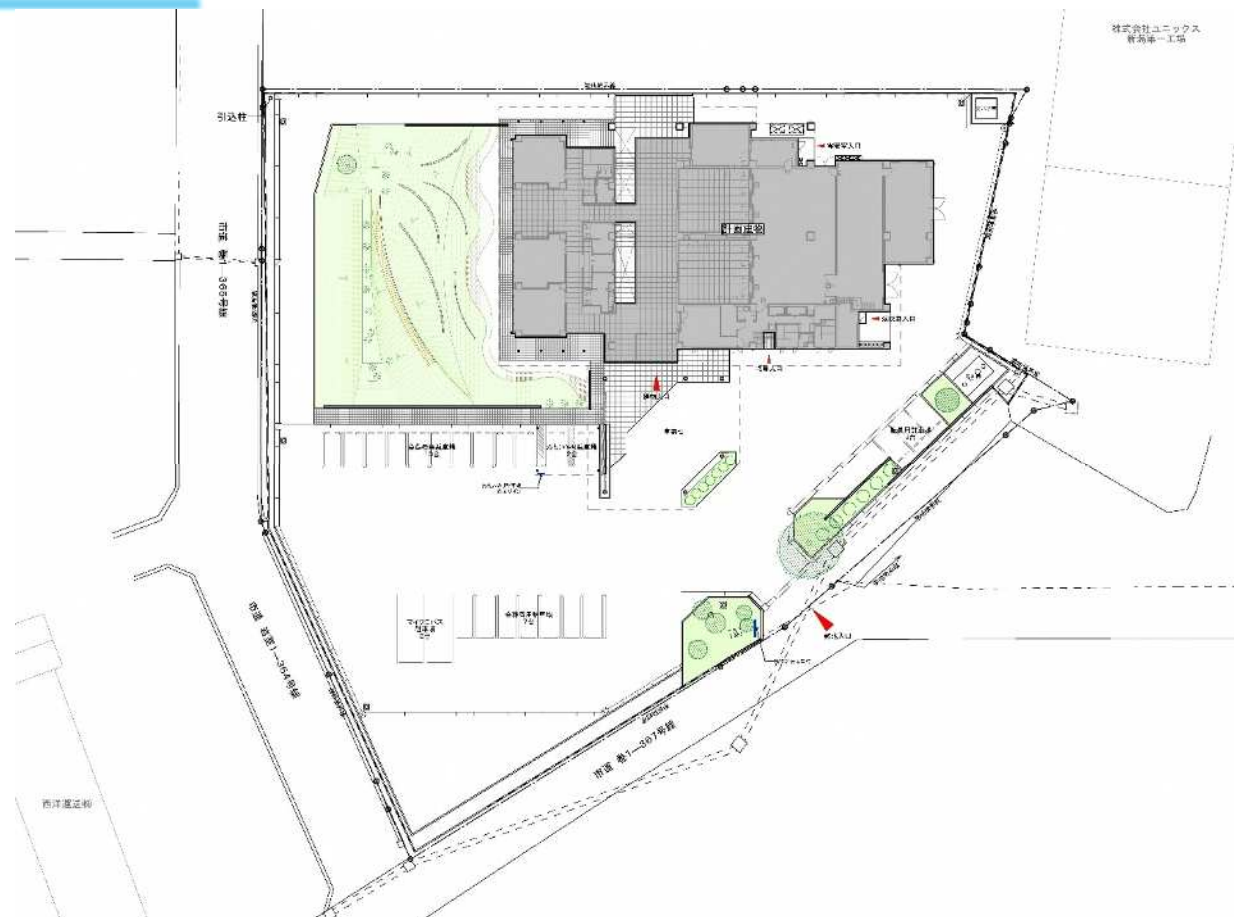
- 火葬炉設備設置による周辺への日照・騒音・振動の影響に配慮した計画をおこないます。
- 姿・形を主張するのではなく周囲の田園や山並と調和した、厳粛でありながら安らぎの感じる外観計画をおこないます。
- 建物物省エネ法の基準より高いレベルである ZEB Ready の実現を念頭に、省エネルギー化・自然エネルギー利活用・設備システムの高効率化を考慮した計画をおこないます。

(4) 将来変化に対応できる施設

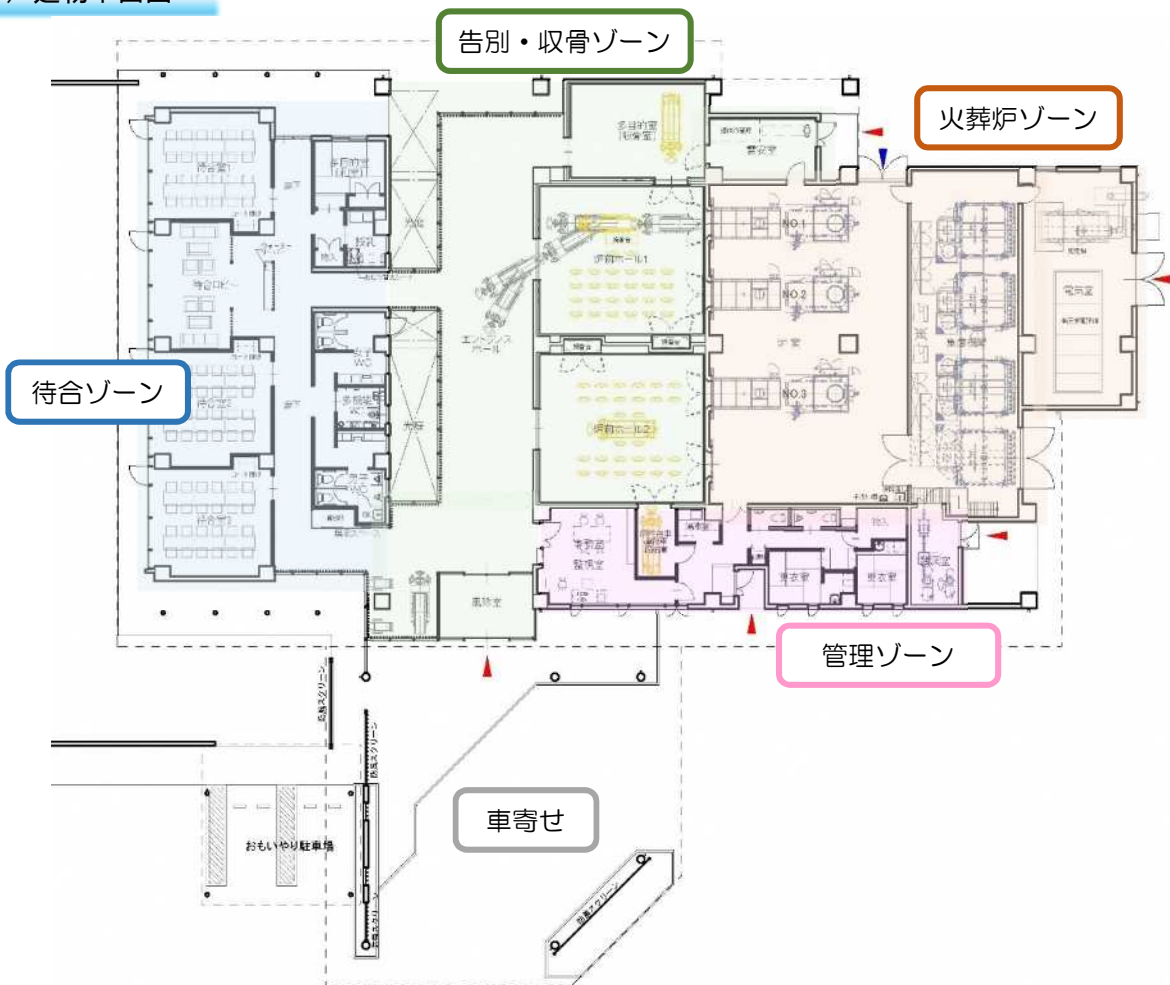
- 長期間にわたって機能を維持できるように、耐久性に優れ、維持管理がしやすく、将来更新に柔軟に対応できる長寿命化建築の計画をおこないます。
- 健全な管理運営が維持できるように、水・光熱費を低減する設備計画やメンテナンスや修繕費用を削減する外装計画や設備計画をおこないます。
- 火葬炉設備機器の維持管理や更新に配慮し、火葬炉機械のメンテナンスや機器の入れ替えを考慮した計画をおこないます。

5. 施設整備計画

(1) 敷地配置図



(2) 建物平面図



6. 完成イメージ図

(1) 外観イメージ



施設全体パース

建物外観イメージ



(2) 室内イメージ



入口からエントランスホール



エントランスホールから待合室方向



炉前ホール内部（告別及び収骨スペース）